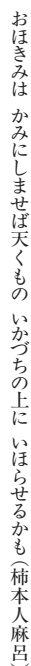


特別展
没後50年

Kaido Tanaka



「雷丘」昭和40年（1965）

*初日は11:30から開館いたします。

主催＝矢掛町・矢掛町教育委員会・やかげ郷土美術館

開館時間＝9:00－17:00（入館は16:30まで） 休館日＝月曜日（祝日の場合は翌平日）

観覧料＝一般200円（150円）中高生以下無料 *（ ）内は20名以上の団体料金

やかげ郷土美術館
YAKAGE MUSEUM of ART

特別展

没後50年

田中塊堂展

Kaido Tanaka

大字かなの普及と古写経の研究に生涯をさげた昭和を代表する書家・田中塊堂は、読んで味わうのではなく、観て感覚に訴える「大字のかな書」の先駆者として活躍し、昭和44年には日展出品作「平和」で日本芸術院賞を受賞しました。

また、後進の指導にあたりながら、写経研究の第一人者、古筆の研究者としても活躍するとともに、帝塚山学院大学教授や日本書芸院理事長、日本書道美術館初代館長を歴任するなど、日本書壇の発展に多大な貢献をしました。

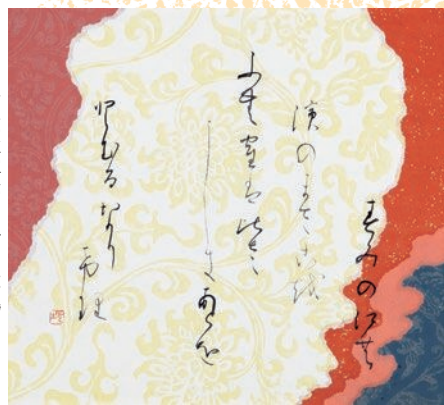
凛とした品格の中にも、ほのぼのとした匂いと絵が感じられる田中塊堂の書は、その温厚清節な人柄と共に今なお多くの人に愛されています。

本展では、初期から晩年までの代表作に加え、近年新たに収蔵された作品など、約50点を公開し、田中塊堂の書業と功績にふれていただきます。



田中塊堂
たなかかいどう

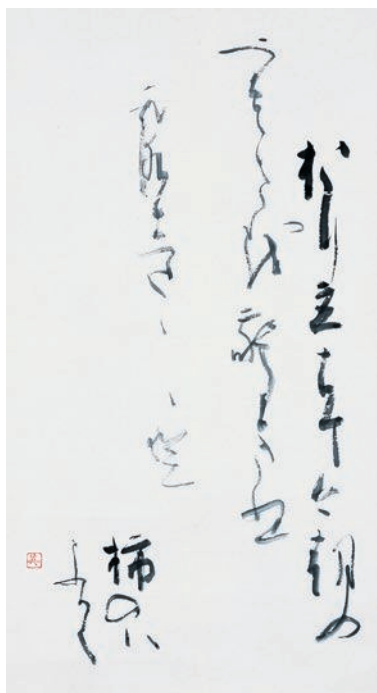
明治29年、岡山県小田郡山田村（現矢掛町中）に生まれる。本名、英市。大阪貿易語学校英専科卒業。大正13年川谷尚亭に漢字書を師事。千草会を創立、大阪古筆研究会を主宰。かな書は独学で平安朝のかな古筆を研鑽、かたわら写経の研究で文学博士となり、「古写経綜覧」「日本古写経現存目録」などを著す。戦後、安東聖空らと「大字かな運動」を展開、壁面芸術としての「かな」を普及させ、昭和後期のかな書壇をリードし、書くよりは描くという「詩情表現」の情感あふれるかな書を確立した。



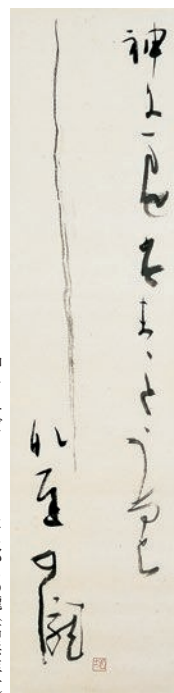
「鶴のうた」昭和45年（1970）



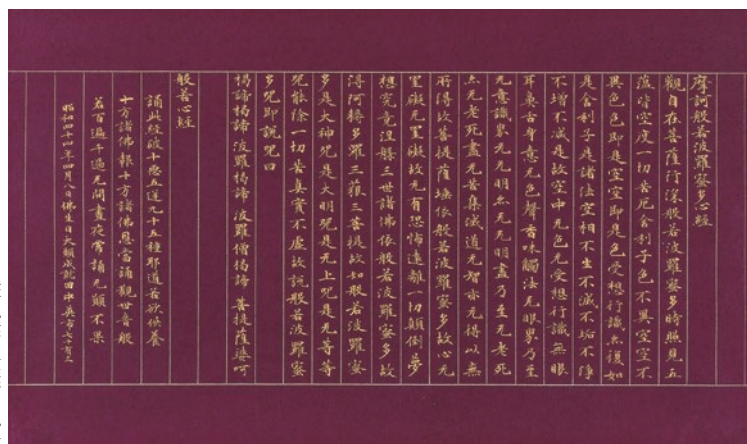
「白蓮や」昭和50年（1975）



「柿の葉」昭和40年代



「那智の瀧」昭和48年（1973）



「紫紙金字般若心経」昭和44年（1969）



やかげ郷土美術館 YAKAGE MUSEUM OF ART

〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町矢掛3118-1
TEL 0866-82-2110 FAX 0866-82-2164
E-mail museum@town.yakage.lg.jp
https://museum.yakage-kyouiku.info/

